



編集発行
 公益財団法人 不老会
 〒460-0008
 名古屋市中区栄
 2丁目10-19
 名古屋商工会議所内
 9:00~12:00 13:00~17:00
 土日祝休
 電話 (052)203-4580
 FAX (052)253-7123
 ホームページ
<http://furo-kai.or.jp>

不老会創立六十周年記念事業のテーマ決まる!!

会員の皆様から応募のありました多数のテーマの中から、厳正なる審査の結果、加藤智弘様(中区地区)のテーマが選定されました。

〃 人生、百年時代 〃
 〵 献体までの元気な過ごし方 〵

〈作者のテーマに込める想い〉

日本人の平均寿命(二〇二〇年)は、女性が八十七歳、男性が八十一歳です。

今や多くの方が、長生きできる時代となりました。

これから益々医学医療が進歩発展することにより、人生、百年時代の長寿社会となりますが、一方で、介護分野では、被介護者に介護者の人材が、果たして十分に供給されるのでしょうか？

私たちが、これからやらなければならないことは、如何に介護の世話にならずに余生を送ることができるかではないでしょうか。

その為には、自らが健康に気を付けなくてはなりません。例えば長寿であったとしても寝たきりでは全く無意味なことです。「ピンピンコロリ」を目指すには、日々の努力した生き方が必要ではないかと感じています。

その努力した生き方とは、何なのかどうすれば良いのかを「不老会創立六十周年記念事業」のテーマとして、これを機に共に考え、共に学びたいと思います。

※このテーマは記念事業を通じて広く積極的に活用していく予定です。

不老会創立六十周年を祝う記念行事に、
 皆で参加しましょう!!

創立六十周年記念事業(式典)が十月二十五日(月)に名古屋市公会堂で開催されます。

コロナ禍の大変な状況下において、マスクの着用や入場者数の制限など多くのご不便をお掛けすることもあります。是非ご参加になられて有意義で楽しい一日をお過ごしください。

なお、ご参加には入場券が必要となります。入場券は先着順(七百名)です。同封の参加申込書(ハガキ)に必要な事項を記入して早めにご投函ください。

詳しくは、同封のチラシをご覧ください。

医学のおはなし

感染症の世界的大流行に関しては、十四世紀のペストの流行が有名で、ヨーロッパだけで全人口の四分の一〜三分の一にあたる二千万五百万人が死亡したといわれています。二十世紀に入ってからは一九一八年に新型インフルエンザウイルスが原因の「スペインかぜ」が世界的に大流行し、当時の世界人口十八億人に対して四千万人以上が死亡したと推定されています。二〇〇〇年以降では、二〇〇二年に新型のコロナウイルスが原因のSARS（重症急性呼吸器症候群）が流行し、発見当初の九ヶ月で八千九十三人が感染し、七百七十四人が死亡しています。二〇〇九年には新型インフルエンザ(A/H1N1)が世界的に大流行し、世界の二百十四カ国・地域で感染が確認され、一万八千四百四十九人の死亡者を出した事が知られています。

そして今回二〇二〇年からは新型コロナウイルスが原因のCOVID-19の世界的大流行が大変な問題になっています。二〇〇二年のSARSや二〇〇九年の新型インフルエンザ(A/H1N1)の時より今回

の方が大問題になっているのは、この病気による致死率が原因です。新型コロナウイルスの致死率は高齢者ほど高く、二〇二一年五月の東京都の発表では「九十歳代が三三・九%、八十歳代が三〇・二%、七十歳代が一七・〇%。一方で、五十歳代以下の死亡割合は〇・五%以下と非常に低い。」と報告されています。

ちなみに季節性インフルエンザ

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の世界的大流行 (パンデミック) に関して

藤田医科大学 医学部 解剖学Ⅰ

教授 秦 龍二

行となるまでに完全に押さえ込むことができ、日本での流行はほとんど見られずに収束しました。

一方COVID-19は高齢者や基礎疾患（糖尿病、高血圧、心不全、ガンなど）をもっているヒトでの死亡率は高いのですが、若年者の死亡率は季節性インフルエンザ並であり、発熱等の病状も軽いのが特徴です。即ち本人が知らないうちにこの病気にかかり、病原ウイル

の致死率は〇・一%程度で、日本では毎年三千〜六千人程度が亡くなっています。二〇〇九年に流行した新型インフルエンザ(A/H1N1)の死亡率は〇・〇一%程度であったため世界的大流行となってもそれほど問題にはなりません。逆にSARSの死亡率は六十五歳以上では五〇%以上と大変重篤ですが、大半の患者が重症化するた

め、容易に患者を隔離することができます。このため世界的大流

COVID-19の流行を抑えるには三密（密閉・密集・密接）を避けることが大原則になります。具体的にはマスク・手洗いの慣行、人に混みに近づかない、大きな声で話さないということになります。ワ

クチンは現在の状況を改善する切り札と考えられています。ワクチンを打てば病気にならないというわけではありません。インフルエンザワクチンと同様に、病気を発症しにくくなるか、例えば発症しても病状を軽くするというのがその効果です。またワクチンを打つて、大半の人に抗体ができれば「集団免疫」（理論上六割以上のヒトが抗体をもてば良いとされています）ができ、クラスターを引き起こさずに済むようになります。そうすれば、医療崩壊も起きず、パンデミック前の状況に復帰することが可能になります。

繰り返しになりますが、ワクチンを打ちさえすれば全て解決するわけではありません。二回ワクチンを打った後でこの病気を発症する方も大勢います（但し発症しても死亡率は著しく低下することが報告されています）。また現在のワクチンが全く無効なCOVID-19の変異株が将来流行する可能性も否定はできません。ワクチン接種後も三密を避け、ワクチン接種が全国的に普及してクラスターの発生が押さえ込まれるまで、慎重に行動することが大切になります。大変な時代になりましたが、不老会の会員の皆様におかれましてはご自愛の程宜しくお願いいたします。

「名古屋大学不老会員の集い」の 開催中止について（お知らせ）

平素より医学の教育・研究のためにご協力賜りまして誠にあり
がとうございます。心より感謝申し上げます。

さて、令和三年度に開催予定の「名古屋大学不老会員の集い（講
演会）」につきましては、まだまだ新型コロナウイルス感染症の脅
威は予断を許さない状況でありますので、今年も中止とさせてい
たきます。

なお、令和三年度の名古屋大学医学部解剖弔慰祭は、十月十四
日（木）午後一時三十分より覚王山日泰寺にて執り行う予定でご
ざいます。ご遺族様には大学から招待状をお送りさせていただきます
ます。学生の参加は、今年度は見送らせていただき、招待状をお
持ちのご遺族様と関係者のみの出席となります。

また、新型コロナウイルス感染症の流行状況によりましては、開
催方法等を変更させていただくこともありますので、ご承知おき
願います。

（公益財団法人）不老会 会員各位

名古屋大学 医学部長 門松健治
公益財団法人不老会 名古屋大学担当理事 早川佳教

「愛知医科大学不老会会員の集い」の 開催中止について（お知らせ）

令和三年度に予定しておりました「愛知医科大学不老会会員の
集い」の開催に向けて、新型コロナウイルスの感染の情勢を注視
しておりましたが、まだまだ予断を許さない状況であり、持続的
な感染対策が求められています。

このような状況のもと、大変に苦渋の決断ではございますが、今
年度の「会員の集い」を中止させていただくことと致しました。

この日を楽しみにしておられる会員の皆様とご家族のお気持ち
を察すると、とても心苦しく思っております。今後は、感染の状
況を鑑み、地域社会の要請に応え、貢献できるように努力を重ね
る所存です。何卒ご理解を賜りますよう、お願い申し上げます。

（公益財団法人）不老会 会員各位

愛知医科大学 医学部長 若槻明彦
解剖学講座 教授 内藤宗和
解剖学講座 教授 中野隆
公益財団法人不老会 愛知医科大学部会長 藤内美也子

「愛知学院大学不老会員の集い」並びに
「解剖慰霊祭及び返骨式」について

(お知らせ)

平素より歯学の教育・研究のためにご協力賜りまして誠にありがとうございます。心より感謝申し上げます。

さて、令和三年度に開催予定の「愛知学院大学不老会員の集い」につきまして、新型コロナウイルス感染症が終息していないため、皆様の安全を第一に考慮しました結果、本年度の開催を中止することといたしました。

なお、十月一日(金)に予定しております解剖慰霊祭及び返骨式につきましては、最善の注意を払いご遺族及び大学教職員のみで営むことといたしましたので、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

皆様方のご息災を心よりお祈り申し上げます。

(公益財団法人) 不老会 会員各位

愛知学院大学長

引田 弘道

不老会愛知学院大学部会長

田川 悦子

皆様コロナ禍、いかがお過ごしですか…。

3月開催の“遠足”が好評でしたので、

同好会として

『不老ウォーキングクラブ』を
つくります。

愛知用水に関りのある地域へのウォーキングを中心に活動します。

参加希望の方は事務局にお申込み下さい。

次回はコロナワクチンの接種状況をみながら、

11月に愛知池(東郷町)を予定しています。

常務理事 杉山雄彦



事務局からのお知らせ

1. 地区代表者会議

新型コロナウイルスの感染予防の観点から、例年4月に開催致しておりました当会議は中止となりました。会議が中止されたことに伴い、予定していました報告関係資料を、各地区代表者あてにお送りさせて頂きました。

なお、主な報告事項は次のとおりです。

【主な報告事項】

- ① 令和3年度事業計画及び収支予算について
- ② 令和3年度入会登録制限について
- ③ 地区活動費交付要綱別表の改正について
- ④ 不老会旗に係るアンケート調査について

2. 令和3年度献体者顕彰式並びに御名札納め式

5月13日に開催するため準備を進めていましたが、式典当日を間近にして、新型コロナウイルス感染防止のための「緊急事態宣言」が愛知県に適用されることの決定があり、これを受けて、急遽の開催断念とせざるを得ず、当日出席を予定されていたご来賓や関係役員の方々には、大変なご迷惑をお掛けすることとなりました。

なお、今後の予定については、新型コロナウイルスの感染状況を注視しつつ、関係機関との調整を得て決定させていただきます。

3. 令和3年度第1回定時理事会

5月26日に開催予定でありましたが、愛知県に「緊急事態宣言」が発令中であることから書面による開催とし、次の3件の議案についてご審議を頂き、原案のとおり可決承認されました。

【決議事項】

- 第1号議案 令和2年度事業報告書(案)の承認の件
- 第2号議案 令和2年度計算書類(決算案)の承認の件
- 第3号議案 令和3年度第1回定時評議員会の招集の決定について

【報告事項】 代表理事・業務執行理事の職務の執行状況の報告について

【その他】 令和2年度大学別登録会員数表

4. 令和3年度第1回定時評議員会

6月16日に開催予定でありましたが、愛知県に発令されていた「緊急事態宣言」が同月20日まで延長されたことから書面による開催とし、令和2年度計算書類(決算案)についてご審議を頂き、原案のとおり可決承認されました。

【決議事項】

- 第1号議案 令和2年度計算書類(決算案)の承認の件

【報告事項】 令和2年度事業報告書について

代表理事・業務執行理事の職務の執行状況の報告について

5. 不老会事務所の夏季お休み

8月11日(水)～13日(金)

社説

流れる水は腐らない

週のはじめに考える

中日新聞社 論説委員 豊田 雄二郎

伊勢湾を望む知多丘陵の貯水池、佐布里池(愛知県知多市)の湖畔に小さなほこらがあります。知多市の農家、久野庄太郎さん(一九〇〇〜一九七七年)の写真が五十六人の霊を慰めるために寄進した愛知用水観音堂です。



大きな山も河もない知多半島は長く水不足に悩んでいます。久野さんは米作りから養豚や養鶏、のり養殖に手を広げ、一九四六

年、天皇陛下に県の農業事情を講ずるほどの篤農家でした。翌四七年、大干ばつが襲います。久野さんは戦争で男手をなくした家を回り、自分の田でとれた米を配り、水くみも手伝ったそうです。

二人三脚がスタート

木曾川の水を運ぼう。そう思い定めた時、戦前は南満州鉄道の技術者だった浜島辰雄さん(一九一六〜二〇一三年)と運命的に出会ったのです。二人は現地調査を重ねて水路の概要図を作り、地元や役場、政治家を訪ね歩きます。地縁や人脈を生かし、四八年末には吉田茂首相(当時)に直談判。浜島さんの著書によると、当初五

分の約束は四十分に及び、吉田首相は最後に大きな声で「食糧増産、失業対策。よいではないか」と励ましたといえます。国は戦後初の大型公共事業に位置付け、五五年、愛知用水公団を設立。世界銀行の融資を受けることも決まり、世銀の主導で米国から卓越した技術者と最新設備を送り込まれます。国内から気鋭の技術者も集結しました。

大願成就は、浜島さんとの二人三脚スタートから十三年が過ぎた今から六十年前の六年九月。岐阜県八百津町の取水口から知多半島の先端まで百二十キロをついに水が流れ、以後、この地域の飛躍的な発展に貢献します。その年、二人

には中日文化賞が贈られました。しかし、久野さんの心は晴れやかではありません。工事中の事故で五十六人が犠牲になっていたのです。「自分が殺したようなもの。いっそ人柱として埋めてくれないか」。その苦悩を知った勝沼精藏名古屋大元総長は、少し違った「命の貢献」を提案します。慢性的に献体が不足している医学界への協力を求めたのです。

久野さんは六二年、解剖学実習などに遺体を提供する団体、不老会を発足させます。自らが第一号となった会員数はわずか三年後に千人を超えました。献体者は二〇二〇年度末現在で二万九百五十一人に達し、医学界に欠かせない存在であり続けています。

最先端医療にも貢献

「ダビンチ」や「ヒノトリ」で知られる手術支援ロボットのいち早く導入した藤田医科大学(愛知県豊明市)は今年五月、三十キロ離れ



1961年、桑原幹根愛知県知事(当時)の案内で現地を視察した吉田茂元首相

た病院間を光専用回線で結んだ遠隔手術の実証実験に成功しました。体への負担が小さく、繊細な執刀に適したロボット手術の可能性は一層広がりました。須田康一教授によると、従来の手術より、がん患者の生存率が高いとの結果も出始めています。今後の将来性は「ロボットを使いこなす技術を習得する訓練が鍵」と話し、不老会への敬意と感謝を口にします。

「流れる水は腐らない」と言われます。流水のごとく、常に歩みを止めなかった久野さんの生涯のようです。伝来の土地や家屋を手放しました。木曾川上流で反対の声が高まった時には一軒一軒に頭

を下げて回ったといっています。それでも「後々の人が喜んで使ってくればそれでいい」と進んで功績を語ることはありませんでした。知多丘陵の小さなほこらに納められた観音像は、久野さんが持ち帰った工事現場の土で、できています。開通後、久野さんは別に造らせた観音像を手土産に、米国の世銀本部へ行ったそうです。「今まで世界中にいっぱいお金を貸してきたけど、わざわざお礼に来たのは初めてだ」と海の向こうの人たちを驚かせたといっています。

たった一人から始まった愛知用水の運動は地域を盛り上げ、国や世銀まで巻き込みました。世界最新の技術に触れた技術者たちはその後、国内外で社会資本の整備に大活躍します。不老会の活動も全国に広がりました。公共の新しいあり方が問われる今こそ、「民」の熱量を核にして「官」が動く参加型プロジェクトとして再評価されるべきだと思います。

二〇二二年(令和三年)六月十三日(日)

中日新聞(朝刊)掲載

石碑洗浄のご奉仕

五月上旬、顕彰式の準備をしていた最中に、奇しくも「献体の塔の石碑の洗浄(奉仕)」の申し出があり一瞬耳を疑いましたが、普段はお墓の洗浄師として、愛知県を中心に施工しています。と話す申出者の坂田正一様(※)から快



いお話を聞くにつれ、その善意に甘えることとなり、塔の石碑及び周辺の石段洗浄にご奉仕をいただきました。

この洗浄作業には、多量の水を必要としますが、不幸にも塔の近くには水道が無く、離れた場所(四阿)から幾度も往復して水を運び、汗をぬぐいながらの大変な作業となってしまう、心苦しく思っております。

お陰様で石碑や石段の汚れも取れて、とても綺麗になりました。

坂田正一様の献身的な石碑洗浄のご奉仕に心から感謝申し上げます。

(事務局)

※「アシストーン(株) AC正規代理店

Sワンストーン 代表 坂田正一

名古屋市天白区焼山二一九〇三二六

電話 〇八〇一五一六六一〇九七七

会員投稿 (五十音順)

二年越し鬼より怖いコロナ菌

一宮市 渥美 栄夫

夏雨にとじ込められて酔の香飯

大府・東浦 野村 悦子

